

2015年3月期決算説明会

2015年5月26日

黒崎播磨株式会社

(証券コード:5352)

KROSAKI HARIMA CORPORATION

目次

1. 2015年3月期決算の概要

2. 2016年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<参考> 当社の概要

【本資料中の数値表示について】

特段の注記がない場合、金額表示は表示未満単位を切り捨て、百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しております。

KROSAKI HARIMA CORPORATION

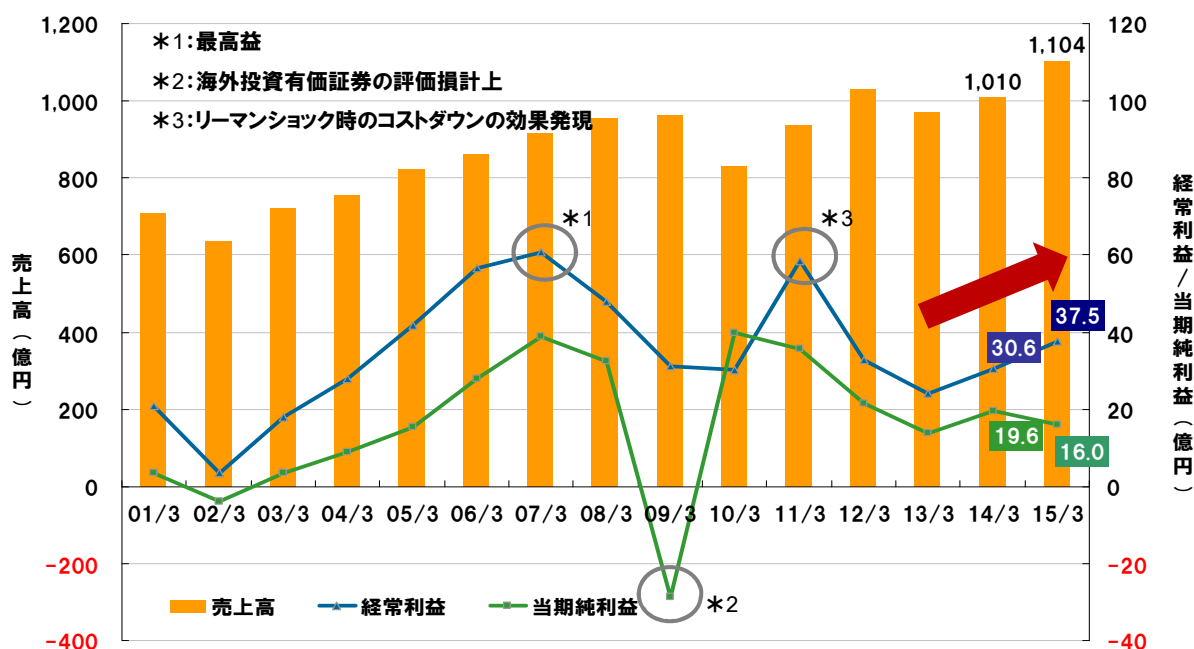
2015年3月期決算(連結)

拡販および大幅なコストダウンにより営業増益。
投資有価証券評価損の計上により当期純利益は減益。

(単位:億円)	14年3月期	15年3月期 []内は業績予想 (2015.1.5公表)	対前年度増減	
売上高	1,010.0	1,104.2 [1,090.0]	+94.1	+9.3%
営業利益	28.6	38.4 [37.0]	+9.7	+33.9%
経常利益	30.6	37.5 [33.0]	+6.8	+22.4%
当期純利益	19.6	16.0 [14.2]	▲ 3.6	▲18.6%

業績推移(連結)

売上高は過去最高を更新。
円安が継続する直近の環境下においても引き続き利益を伸ばす。

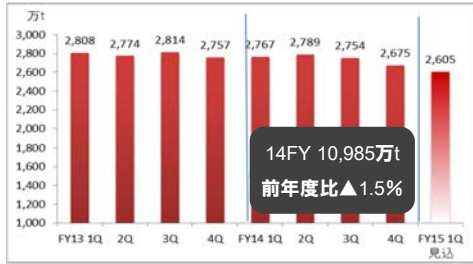


最大の需要先 鉄鋼業界の生産量の推移

【国内】2014年度は高位で推移も、足下は在庫調整の局面。
 【世界】中国は依然高い水準で生産しつつも、伸びは鈍化。

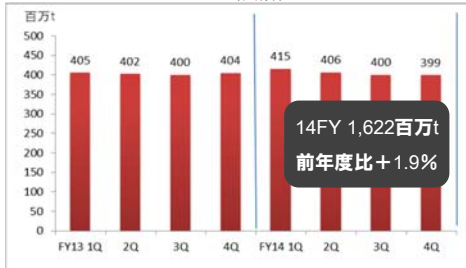
国内粗鋼生産量

* (出所)日本鉄鋼連盟、FY15 1Q見込は5/8経産省発表



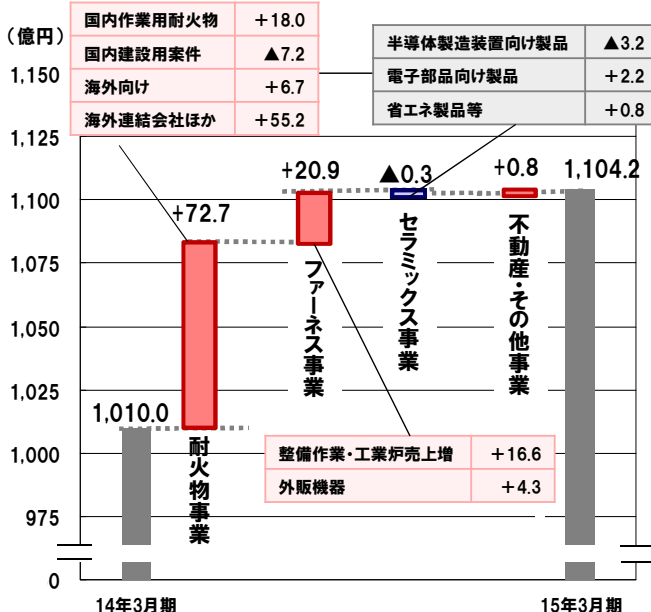
世界粗鋼生産量

* (出所)World Steel Association統計より当社算出



セグメントの業績(売上高)

【耐火物】海外売上高が大幅に増加



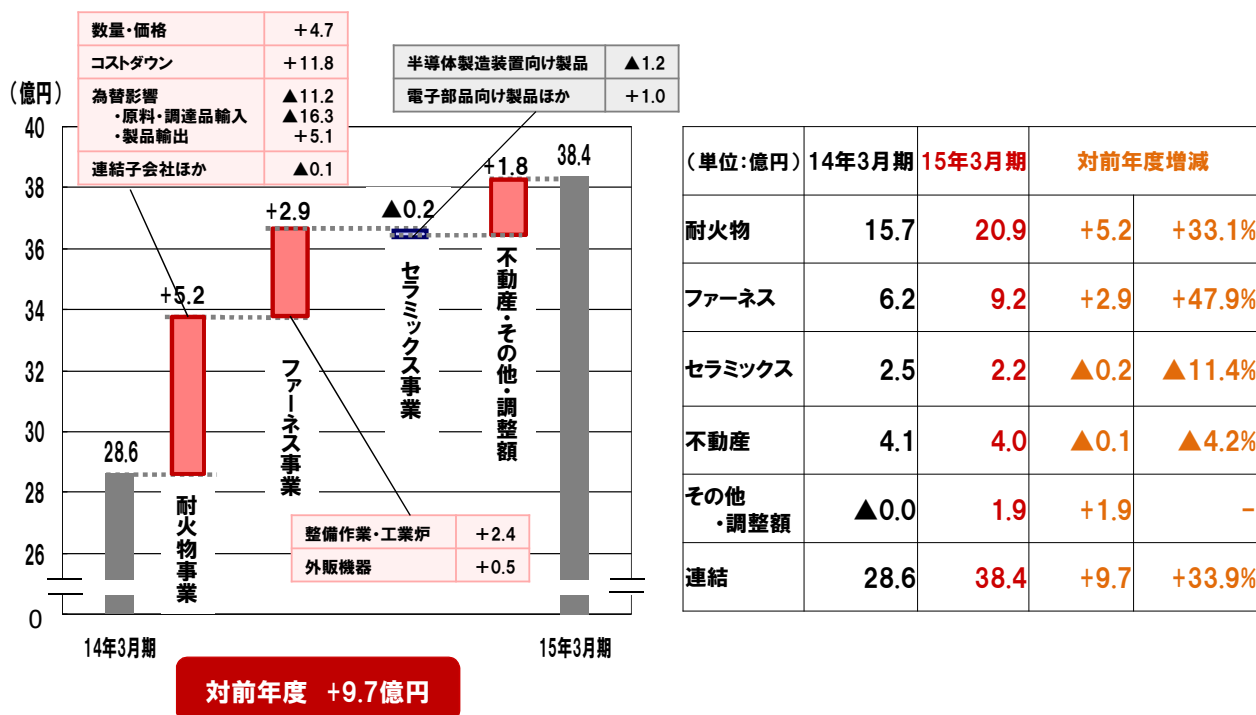
(単位: 億円)	14年3月期	15年3月期	対前年度増減	
耐火物	815.2	888.0	+72.7	+8.9%
ファーネス	126.6	147.5	+20.9	+16.5%
セラミックス	51.7	51.3	▲0.3	▲0.7%
不動産	9.9	9.7	▲0.2	▲2.1%
その他	6.4	7.4	+1.0	+16.4%
合計	1,010.0	1,104.2	+94.1	+9.3%

※外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれません。

対前年度 +94.1億円

セグメント業績(セグメント利益)

【耐火物】為替によるマイナス影響はコストダウンにより相殺。



財政状況(連結)

売上増に伴う原材料・貯蔵品の増加。
輸入原料・海外調達品の円安による価格上昇。

	14年3月末	15年3月末	対前年度末増減		
流動資産	513.8	542.6	+28.7	+5.6%	現預金▲2.8、売掛金+14.0 商品・製品・原材料および貯蔵品+11.4
固定資産	485.0	487.8	+2.8	+0.6%	
有形固定資産	291.6	280.9	▲10.6	▲3.7%	
無形固定資産	78.2	81.2	+2.9	+3.8%	
資産の部	998.9	1,030.4	+31.5	+3.2%	
負債の部	581.5	570.6	▲10.8	▲1.9%	買掛金▲2.9
有利子負債	268.8	260.2	▲8.5	▲3.2%	短期借入金+87.0、長期借入金+4.3 社債▲100.0
純資産の部	417.3	459.7	+42.4	+10.2%	
負債純資産合計	998.9	1,030.4	+31.5	+3.2%	
自己資本比率	38.0	40.2	-	+2.2pt	
D/Eレシオ	0.71	0.62	-	-	

キャッシュ・フローの状況(連結)

設備投資の圧縮および借入金の返済。

(単位:億円)	14年3月期	15年3月期	15年3月期の主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	49.7	38.1	税前当期純利益 +26.3 減価償却費 +33.5 支払利息 ▲7.6 法人税等の支払額 ▲13.0
投資活動による キャッシュ・フロー	▲19.2	▲17.8	固定資産の取得 ▲18.4
フリーキャッシュ・フロー	30.5	20.3	
財務活動による キャッシュ・フロー	▲26.0	▲26.0	社債償還 ▲100.0 短期借入金の増額 +58.8 長期借入金の増額 +26.5
キャッシュ・フロー合計	4.4	▲5.7	

2013年度中期経営計画*の総括

*対象期間:2013~2014年度

利益率に課題残るも、次期中期経営計画の実行に向け一定の成果。

- ①耐火物総合力発揮による顧客満足度の最大化
- ②生産性の向上による総費用の削減と経営資源の効率的活用
- ③グローバル展開の拡大、成長・ビジネスチャンスの創出
- ④耐火物原料の安定調達強化
- ⑤耐火物以外の事業は成長領域・シナジー期待領域への展開強化
- ⑥内部統制活動の全社的強化

	目標	2014年度実績	評価
連結ROS	5.0%程度	3.4%	×(未達)
連結D/E	0.7程度	0.62	○(達成)

2013年度中期経営計画実行期間中における急激な円安進行(計画策定時の前提1ドル80円台⇒実行期間中最安値1ドル120円台)により、当社においては輸入耐火物および耐火物原料の調達価格が大幅アップするも、**徹底的なコストダウンの取り組みを進めると共に、海外展開を強化する「サバイバルと成長」を推進。**

※ **連結海外売上高比率** : 28%(2012年度) ⇒ 33%(2014年度)

目次

1. 2015年3月期決算の概要

2. 2016年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<参考> 当社の概要

2016年3月期見通し(連結)

- ◆ 2016年3月期の連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

<不透明要素>

- ・ 粗鋼生産量に伴う耐火物の販売数量
- ・ 耐火物の販売価格
- ・ 為替変動等に伴う原料・調達品価格

株主還元(配当金)

◆業績に応じた株主配当を基本とし、業績向上に尽力。

	14年3月期	15年3月期	16年3月期
第2四半期末	2円	2円	未定
期末	3円	3円 (予定)	未定
合計	5円	5円 (予定)	未定

目次

1. 2015年3月期決算の概要

2. 2016年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<参考> 当社の概要

当社を取り巻く環境

アジアを中心とした鉄鋼需給ギャップ拡大に伴う
耐火物業界の競争環境激化

アジアを中心とした新興国での鉄鋼生産能力増強による
耐火物需要の拡大

円安(対US\$・人民元)環境の定着

中国における労務費や環境対策コスト等の上昇による
調達価格の高騰

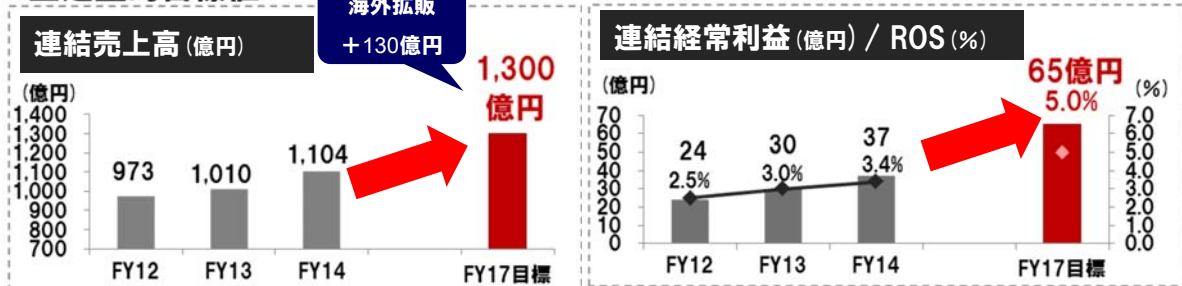
2017年中期経営計画* ~創業100周年への基盤づくり~

*対象期間:2015~2017年度

■主要施策

- ・ 国内外での耐火物拡販・整備事業拡大
- ・ 耐火物事業での抜本的収益力の強化
- ・ 耐火物以外(ファーネス、セラミックス)セグメントでの収益拡大
- ・ 安全・防災対策と内部統制活動の全社的強化

■定量的目標値



<前提> ・国内粗鋼生産量:1億1千万t/年

・為替:1\$=100円,1EURO=136円、1元=16円、1ルピー=1.7円

2019(創業100周年)ビジョン

世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー

<国内>

耐火物拡販・整備事業拡大

耐火物事業での抜本的コスト競争力の強化

国内営業戦略の推進

熾烈な競争環境下、より利益を指向した営業活動を実行。

- ◆ **ターゲット顧客におけるシェア拡大**
 - 新日鐵住金との課題共有化と連携活動の強化
 - 旧新日鐵、旧住金技術のベストプラクティス
- ◆ **為替変動リスクに対応した価格対策の実行**
 - 不採算品種のコスト改善ならびに価格是正
- ◆ **顧客における大規模投資(体質強化投資等)への確実な対応**
 - コークス炉リフレッシュへの対応
 - 加熱炉の省エネルギー対策促進

コークス炉リフレッシュへの対応

コークス炉の大規模補修、建設需要に的確に対応。

需要環境

- 今後10年以上に亘ってコークス炉の老朽更新が継続

◆耐火物

- 安価・高品質のコークス炉用煉瓦の供給体制確立

◆建設(パドアップ*、新設) * :旧炉の基礎を利用した築造

- 需要が逼迫する煉瓦工の確保・育成(築炉学校開校)
- 工期短縮に繋がる材料・工法開発

◆補修

- 日常炉体補修の強化(窯口補修、熱間煉瓦積替え)
- 新補修技術開発(大容量溶射補修技術)



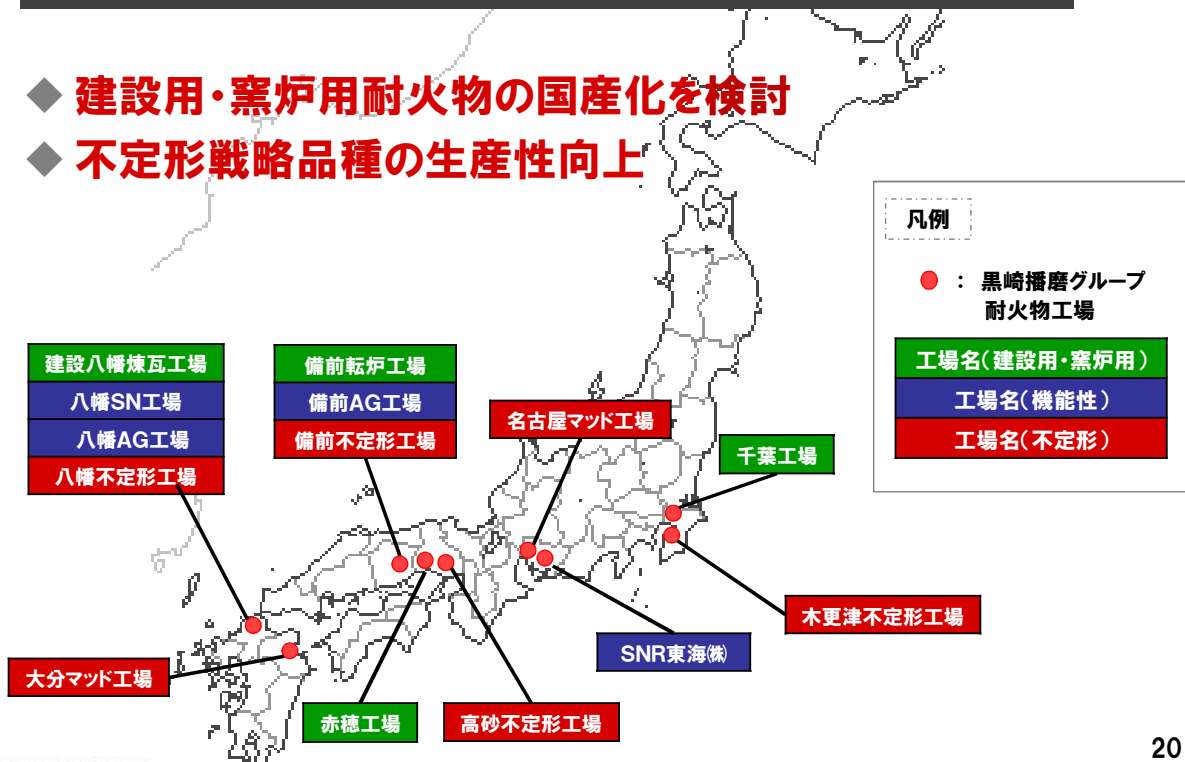
コークス炉外観

最適生産体制の再構築(国内)

為替変動に影響されない生産体制を構築。

◆ 建設用・窯炉用耐火物の国産化を検討

◆ 不定形戦略品種の生産性向上



<海外>

耐火物拡販・整備事業拡大

耐火物事業での抜本的コスト競争力の強化

海外拡販戦略の推進①

効率的なグローバル運営体制による拡販を推進。

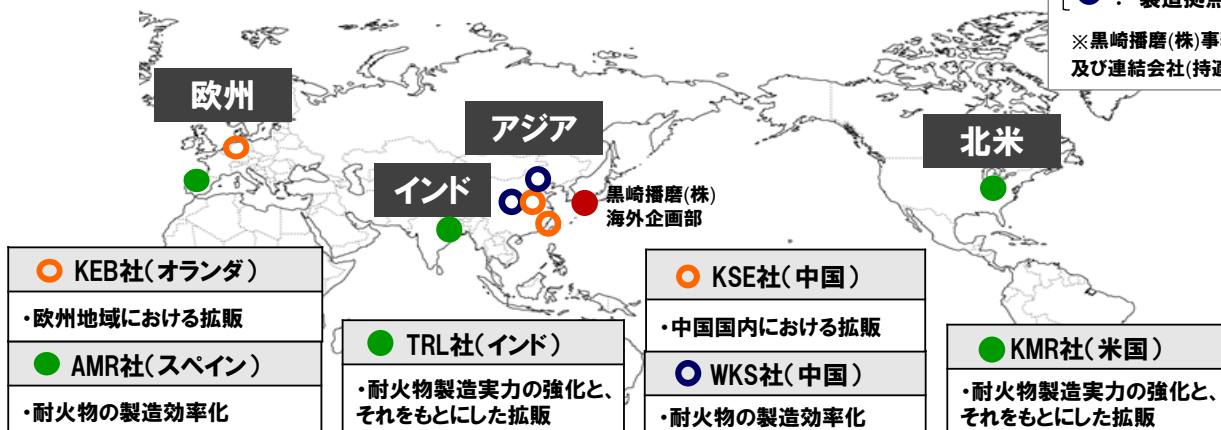
◆ 地域別運営体制(準地産地消システム)の整備

- 海外製造・販売拠点の拡大
- 黒崎播磨グループとしての品質対応体制の整備
・製造品質管理 ・技術サービスの強化
- グループ会社・パートナー会社からの戦略的グローバル調達

凡例

- : 製造・販売拠点
- : 販売拠点
- : 製造拠点

※黒崎播磨(株)事務所及び連結会社(持適合む)



海外拡販戦略の推進②

グローバル化の推進に資するソフト面の充実を図る。

◆ 海外拡販に向けた海外企画部の機能強化

- 海外に於けるグループ全体の販売を統括
- グローバルな最適供給体制の企画・調整

◆ 海外マーケットのニーズに応える商品ラインナップ

- グローバル仕様品の開発・実用化の推進
- グループ会社・パートナーからの戦略的調達
 - ・TRL(インド)等、製造子会社品の活用

◆ ソリューションビジネスモデルの確立

- 原単価契約、材料(耐火物)・施工一括契約への対応
- 現地対応フィールドサービスエンジニアの育成

グローバル商品戦略の推進

◆ 様々な「耐火物」

窯炉用耐火物	製鉄設備に内張りして使われる耐火物
機能性耐火物	単品で溶鋼の流量制御・整流等の機能を持つ耐火物
不定形耐火物	成形・焼成をしない粉状またはペースト状の耐火物



◆ 当社の戦略品種「SN装置・SN耐火物」とは・・・

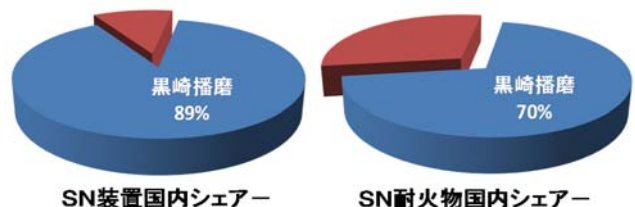
溶鋼鍋／連続铸造設備



【動画】溶鋼鍋に取り付けられたSN装置・SN耐火物



- 適用設備：溶鋼鍋、連続铸造用設備
- 機能：溶鋼の流量制御(バルブ)
- 構成：駆動装置(SN装置) + SN耐火物



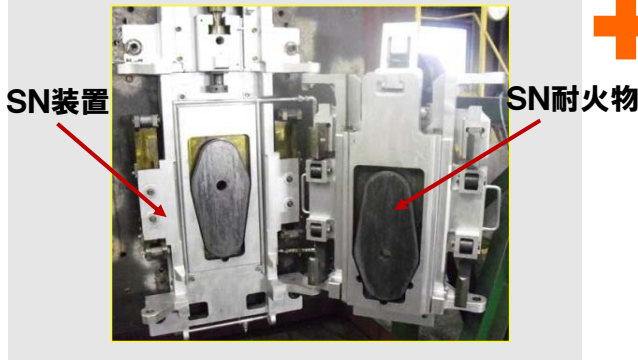
※当社推定シェア
24

商品戦略の推進

徹底したコスト競争力を有するグローバル仕様品の開発。

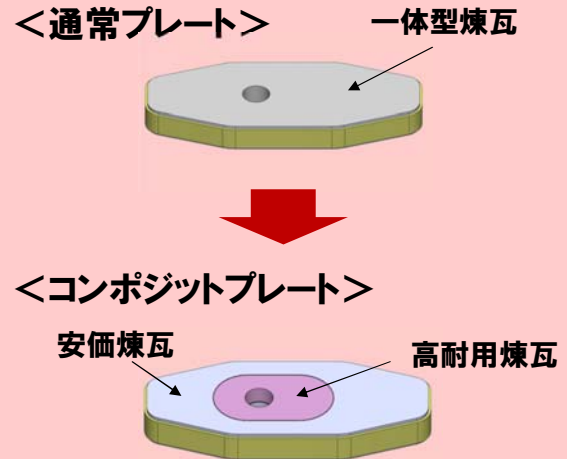
◆ 新モデルSN装置

- ・シンプル構造
- ・易作業化／軽労化



◆ 安価SN耐火物(プレート)

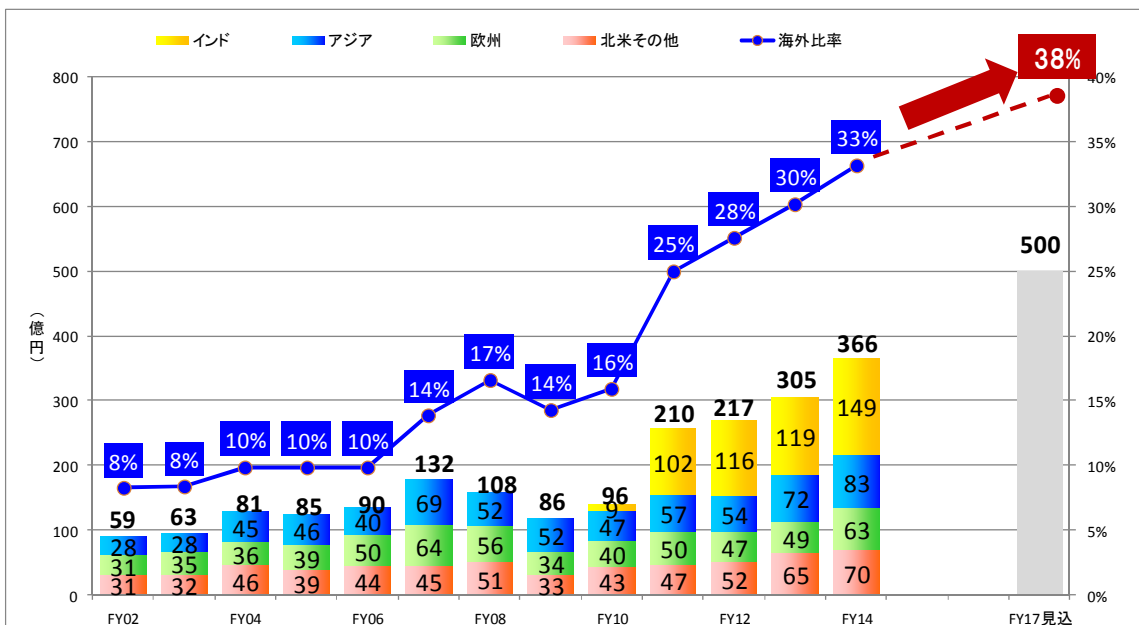
- ・コンポジット構造の採用



海外売上高比率

連結海外売上高比率38%(FY17)を目指す。

世界地域売上高(連結)



耐火物以外セグメントでの 収益拡大

ファーネス事業の拡大推進

需要構造の変化に対応し更なる収益改善を目指す。

◆ 国内需要の確実な捕捉

- 材工一体によるコークス炉案件への確実な対応
- 加熱炉を中心とした材工一体対応の強化
- 整備メンテナンス案件の新規取り込み

◆ 築炉工の安定確保・育成

- 黒播築炉(株)の子会社化(2015年4月)
- 同社を活用した築炉工育成の加速化

セラミックス事業の拡大推進

新しいマーケット開拓による事業拡大を目指す。

◆ ファインセラミックスの国内外での拡販

- 半導体製造装置向け製品の国内外顧客への拡販
- 戦略材料(NEXCERA™・マセライト)の用途拡大
 - ・ 半導体・液晶製造装置、超精密装置、宇宙・天文光学機器、計測機器用部材



NEXCERA™計測用定盤
・JAXA向け
・テーブルサイズ:1.8×1.8(m)

◆ 省エネ関連商品の需要を捕捉

- 環境型自動車・燃料電池向け断熱材等の新規分野開拓
- 半導体・液晶加熱プロセス向けヒーターの拡販



ジャケットヒーター

◆ 電子部品焼成部材の国内外での拡販

- セラミックコンデンサ焼成用部材の更なるシェアアップ
- 市場先取りによる未参入分野への拡販

戦略を実現する リソースの配分について

スリムで効率的な全社業務体制の構築

成長戦略を実現する人的資源の最適配置。

◆採用人数は従来規模を維持

<ご参考> 2015年春入社人数(黒崎播磨(株)単体)

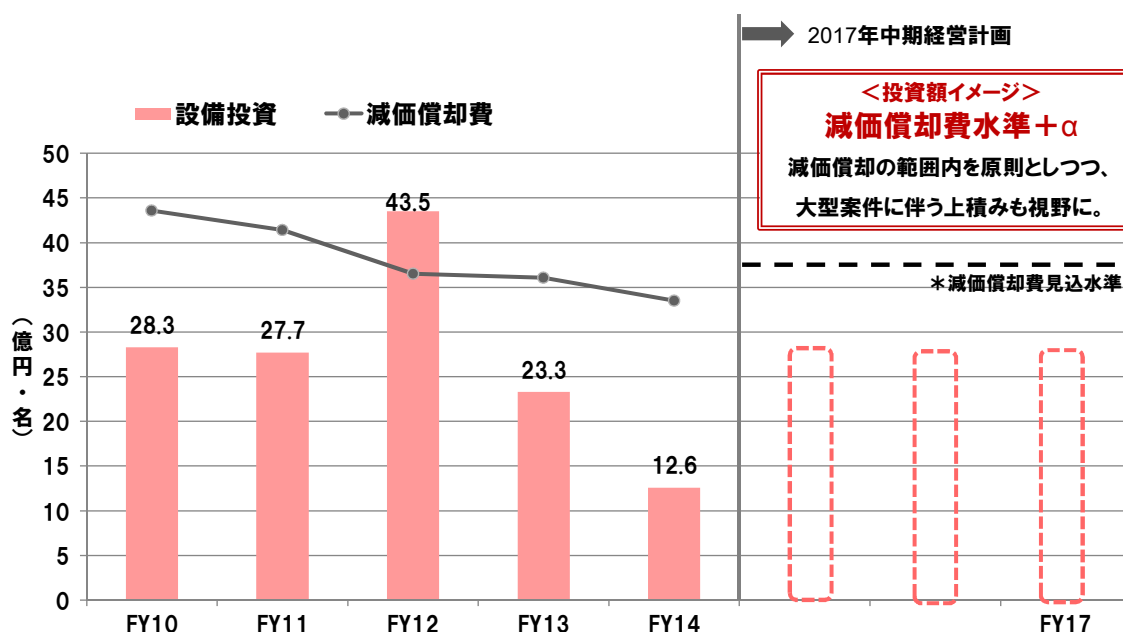
職種	スタッフ系	現業系	合計
人数	13名	19名	32名

◆業務効率化により成長分野へ人材投入

- 執務職中心の「活人化」活動を全社展開。
- スタッフ部門の仕事の見える化、無駄への気付き・共有化を通じ、スリムで効率的な全社業務運営を実現。
- 全社人員の最適配置を目指す。

設備投資による競争力向上

競争力向上につながる投資を積極的に実行。





<http://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1. 2015年3月期決算の概要

2. 2016年3月期決算の見通し

3. 当社の主要課題について

<参考> 当社の概要

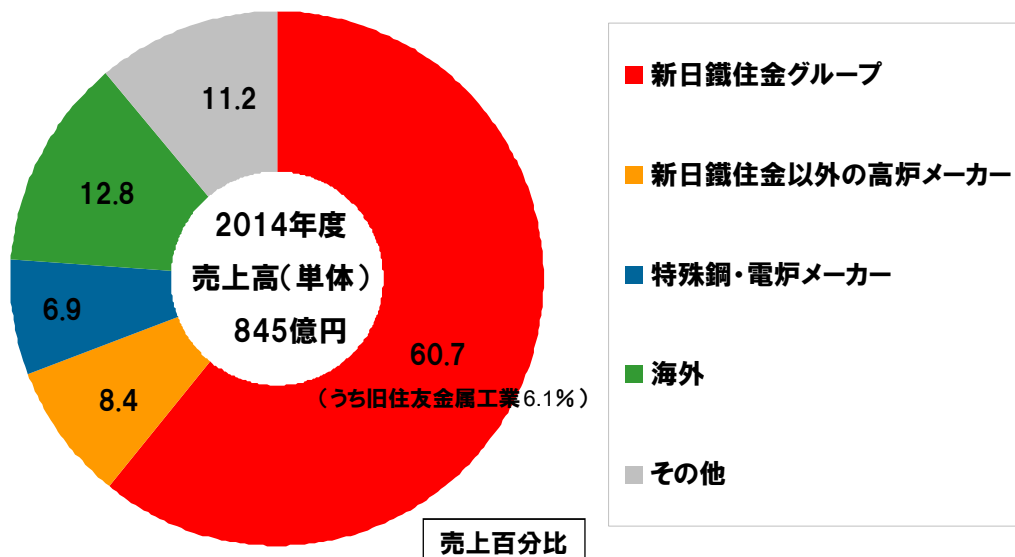
会社概要 (2015年3月末現在)

商号	黒崎播磨株式会社
資本金	5,537百万円
設立	1918年10月14日
創業	1919年 6月 1日
主要事業	耐火物製造・販売
従業員	連結4,036名、単体1,188名
連結対象会社*	12社（国内4社、海外8社）

*持分法適用会社を含む

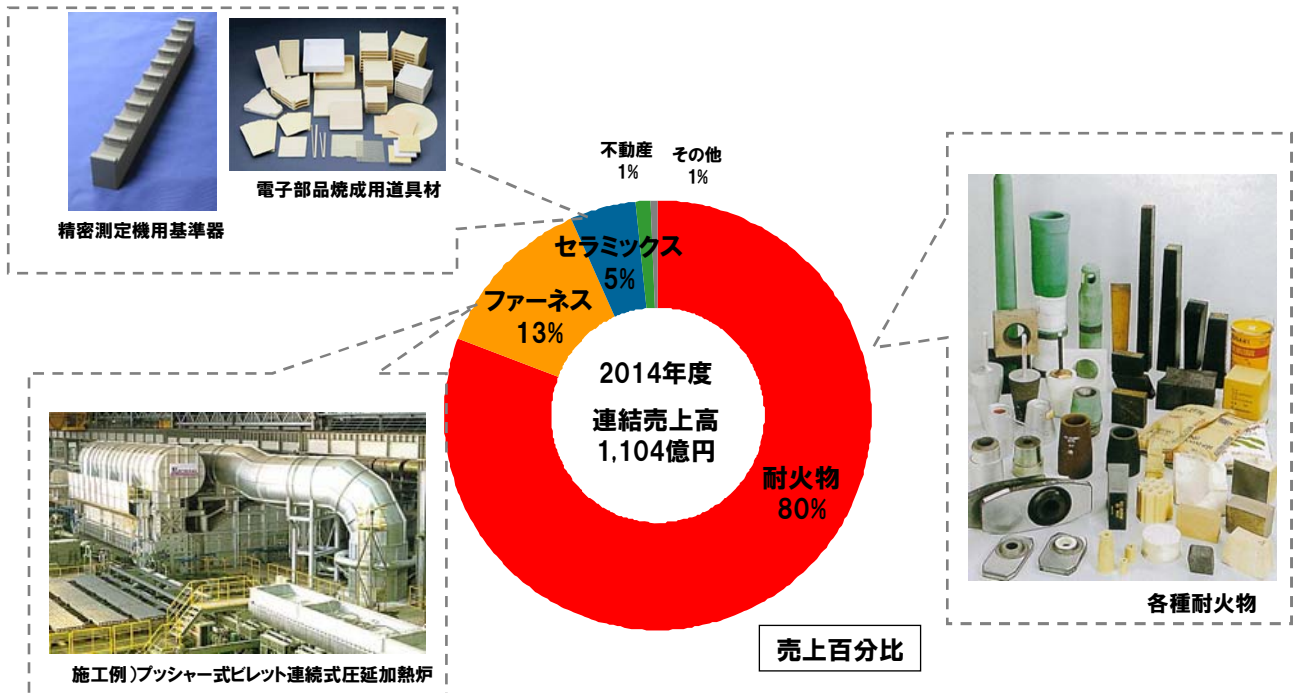
得意先別売上構成比

納入先は国内外の鉄鋼メーカー



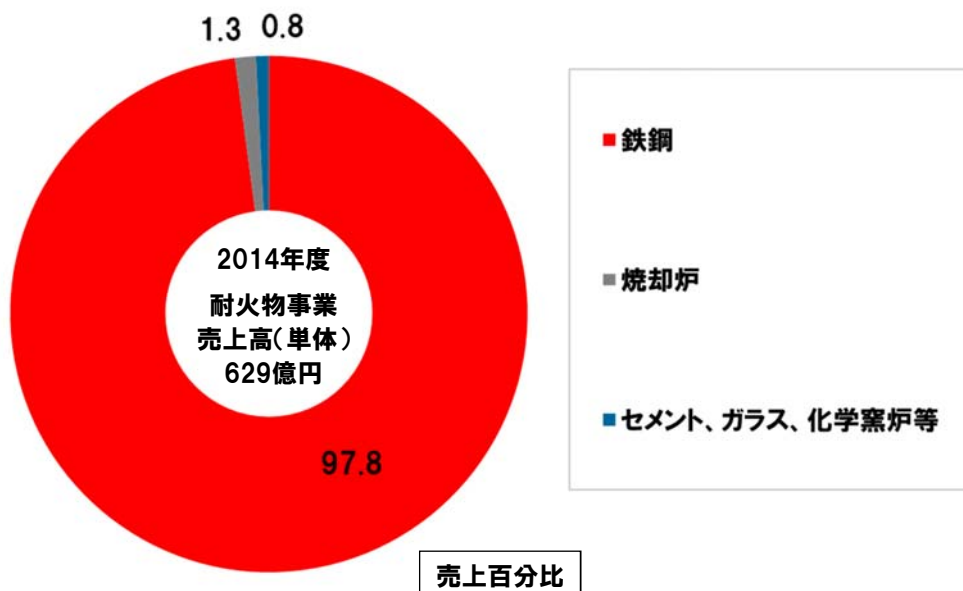
黒崎播磨の事業セグメント

90%以上を耐火物関連事業(耐火物+ファーンレス)が占める

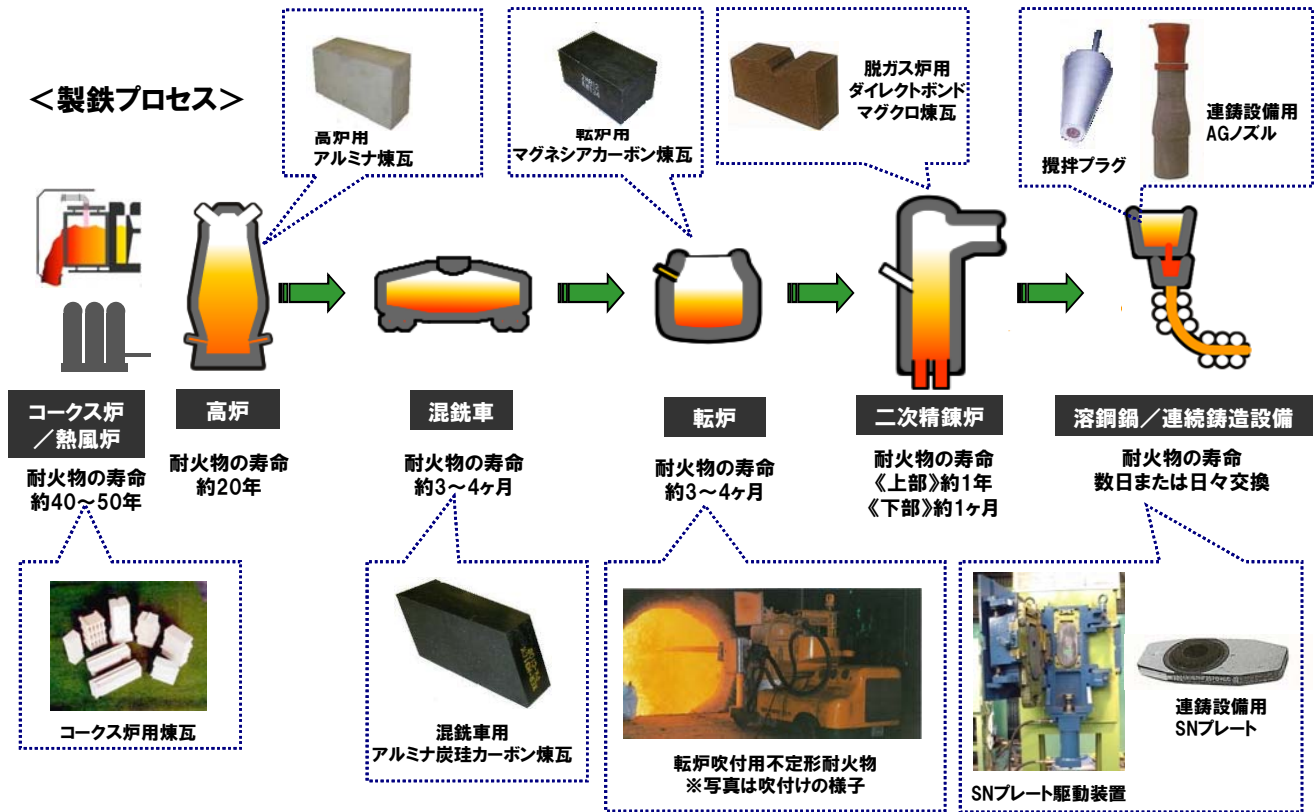


分野別の耐火物販売割合

耐火物のうち98%を鉄鋼向けに販売



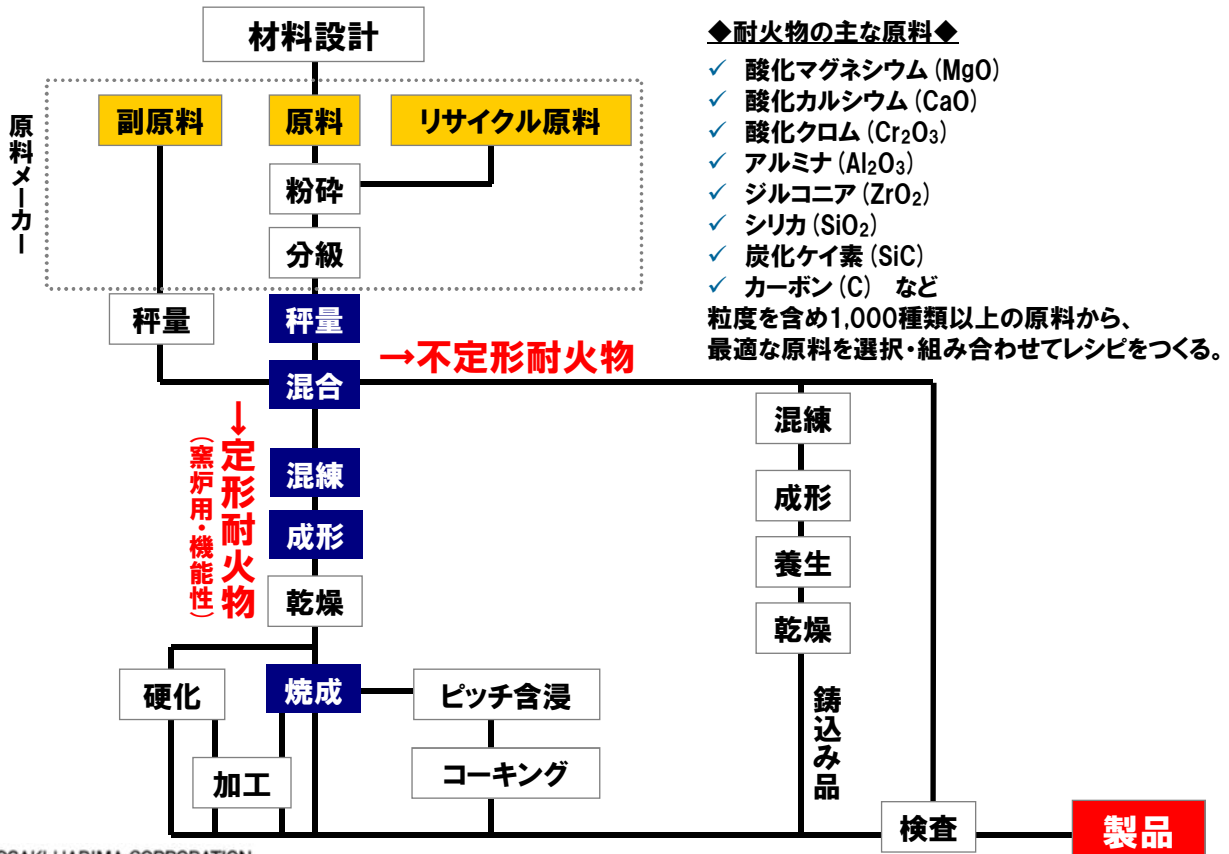
耐火物：製鉄に不可欠な基礎資材



主な耐火物製品の販売市場／生産拠点

耐火物の分類	窯炉用耐火物	機能性耐火物			不定形耐火物	
		連続铸造用AGノズル	連続铸造用SNノズル・プレート	攪拌プラグ	補修材/流し込み材	マッド材
適用される主な製鉄設備	高炉、熱風炉、コークス炉、混鉄車、転炉、二次精錬炉	連続铸造設備	連続铸造設備	溶鋼鋼	高炉、転炉、溶鋼鋼	高炉
用途(機能)	設備の内張	溶鋼の整流	溶鋼の流量制御	溶鋼の攪拌	補修、設備の内張	高炉出鉄口の閉塞
黒崎播磨グループの主な生産拠点	・日本 ・中国 ・スペイン ・インド	・日本 ・中国 ・インド	・日本・中国 ・スペイン ・アメリカ ・インド	・日本 ・インド	・日本 ・中国 ・インド	・日本 ・中国 ・インド
黒崎播磨グループの主な市場	・日本・アジア ・欧州・北米 ・インド	・日本・アジア ・欧州・北米 ・豪州 ・インド	・日本・アジア ・欧州・北米 ・豪州 ・インド	・日本 ・欧州 ・北米	・日本 ・アジア ・北米 ・欧州	・日本・中国 ・北米・欧州 ・豪州 ・インド

耐火物の製造工程



41

当社のファーンレス施工例

省エネルギー、耐久性向上でお客様に貢献

● プッシャー炉

▶ ビーム連続加熱炉等



● ウォーキングビーム炉

▶ シームレス管再加熱炉等



● ウォーキングハース炉

▶ 特殊鋼ピレット連続加熱炉等



● 耐火物築造工事

▶ 耐火物築造、解体、メンテナンス作業



(混銃車)

(コークス炉熱間積替)

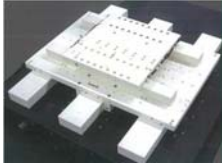


当社のセラミックス製品例(ファインセラミックス分野)

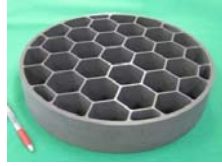
お客様の絶え間ない「高性能化」に貢献

●精密部品用セラミックス

▶ 半導体製造装置、測定機器、光学機器分野



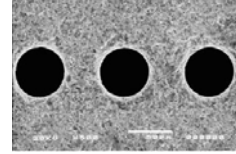
大型形状と精密加工やアッセンブリー技術の強みを活かした精密機械や半導体製造装置向けファインセラミックス。



ゼロ膨張セラミックスNEXCERA™の優れた寸法安定性、環境ロバスト性を活かし、原器や精密測定機器の更正器として適用開始。

●マシナブルセラミックス

▶ 電子部品製造、産業機械、半導体製造分野



金属加工と同様に加工できる易加工性セラミックス。ミクロンオーダーの微細加工を実現。写真は、小径穴加工(直径60 μm)したマセライトHSPのプローブカード(ウエハーに形成されたICチップの検査治具)。

●スパッタリングターゲット材

▶ 電子部品、半導体デバイス分野



電子部品や半導体デバイスを熱や摩耗から守る薄膜を形成する高純度セラミックスのスパッタリングターゲット材。サーマルプリンターヘッド等に適用。

●薄型面状ヒーター

▶ 液晶・有機EL製造、半導体製造、高性能ヒーターユニット分野



薄い面状ヒーターで優れた均熱性、熱応答性が特長。さまざまな産業分野で生産性向上に寄与する。設計ニーズから対応できて、大小サイズのヒーターを提供できる。

●電子部品焼成用道具材

▶ 電子部品製造分野



主にセラミック電子部品の焼成工程に不可欠な道具材。セラミックコンデンサ分野においては世界でシェアNo.1を誇る。

KROSAKI HARIMA CORPORATION

43

当社のセラミックス製品例(省エネ分野向け)

省エネルギー・環境分野で社会に貢献

●高機能断熱材

▶ 製鉄・非鉄、各種工業炉、航空機、自動車分野



鉄鋼業(溶鋼鍋)での施工例

断熱性能が静止空気より優れ、現存の断熱材より格段に優れた断熱特性を発揮して、省エネや薄肉化・小型化・軽量化による生産性向上に寄与。

●高機能蓄熱材

▶ 蓄熱暖房分野



抜群の蓄熱特性を有するセラミックス材料で蓄熱暖房機や床下暖房機等に適用される。夜間電力利用により電気エネルギーの有効活用に貢献。

●エコ建材

▶ 舗装・外壁れんが等建材分野



透水・保水、遮熱等の環境機能を有し、風合いと意匠性を兼ね備えた建材。都市建材リサイクル材を原料に使用する技術をもって循環型都市形成に貢献。

KROSAKI HARIMA CORPORATION

44



<http://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。